

# INTEGRATED REPORTING <IR>

## IIRC ニュースレター 9月号

### IIRC は「統合報告」の 海外展開と影響力を 拡大するため、 新理事会メンバーを任命

国際統合報告評議会 (IIRC) は、新理事会メンバーを任命した。

新理事会は、アフリカ、南北両アメリカ、アジア、ヨーロッパとオセアニアなど広範囲にわたる「統合報告」の海外展開と影響力を反映している。それは、「統合報告」を通して、自社のビジネスストーリーに対する組織の考え方、計画の仕方、報告の仕方を強化している世界的連合の性質を反映している。新理事会は、ビジネス、金融、規制当局や非営利セクターの著名なリーダーで構成されている。

IIRC の 12 名による新理事会は 2015 年 10 月 1 日に発足し、当組織の新規約を継承している。Professor Mervyn King は理事会の Chairman は退任するものの、過去 5 年間において「統合報告」の普及活動が大きく進展した陰の立役者であり、引き続きカウンスルの Chairman として留任することとなった。米国公認会計士協会 (AICPA) プレジデント兼 CEO の Barry Melancon は、Professor Mervyn King の後任として理事会の Chairman に就任し、IIRC の CEO である Paul Druckman は、理事として続投する。

Professor Mervyn King は、「私達のグローバル規模で連携し献身的かつ集中的な取り組みにより、統合報告の採用が相当な勢いで進展していると、明言できます。旧

ブログ：  
[アウトカムの  
アウティング](#)  
「統合」共著者  
統合報告特別  
コンサルタント  
Leigh Roberts 氏

#### 新リソース

[UNGP  
報告フレームワーク  
と統合報告](#)

-----  
[ISCA -  
実践「統合報告」の  
ジャーニー：  
シンガポールの  
早期導入者の見識](#)

理事会は国際統合報告フレームワークの開発から 2013 年 12 月のローンチ、そして統合報告の世界的な採用の成功に至るまで、数々の主要な変化を監修してきました。私は、旧理事会のコミットメントとパフォーマンスに感謝しています」と、述べた。

IIRC の CEO、Paul Druckman は、「新理事会は、私たちの戦略を推進するためのドライブを維持し、統合報告というジャーニーに変化をもたらすでしょう。既に 27 カ国 800 以上の企業や組織の世界的なネットワークがあり、現時点では 1,000 以上の企業が、彼らの価値創造ストーリーを表現する重要なメカニズムとして統合報告を使用しています。私は、統合報告の採用に向けての関心の高まりや動きがこれまでに進展したことについて、旧理事会の役割と Mervyn のビジョンに敬意を払います」と、コメントした。

新理事会の新しい Chairman、Barry Melancon は、「私は、このようなダイナミックな新理事会と IIRC の成果を継続していくことにより、金融の安定と持続可能な成長という大きな目標に向けて資本配分と企業行動の連携を行う IIRC のビジョン達成の一助を担うことを嬉しく思います。多様なグローバル経験と、海外展開を反映する非常に経験豊富な人材による理事会の任命は、統合報告の世界的採用を継続的に見ている私たちにとって、IIRC の開発の中で重要なマイルストーンとなります」と、付け加えた。

IIRC 理事会メンバー：

- **Peter Bakker** (スイス)  
持続可能な発展のための世界経済人会議 (WBCSD)  
President 兼 CEO
- **Helen Brand** (英国)  
英国勅許公認会計士協会 (ACCA) CEO
- **Alexsandro Broedel Lopes** (ブラジル)  
Itaú Unibanco Finance Executive Director
- **Jane Diplock** (ニュージーランド)  
AO シンガポール証券取引所での役職、および公益  
監視委員会のメンバーシップ
- **Paul Druckman**  
IIRC CEO

- **Timothy Flynn** (米国)  
JPMorgan Chase Director、Wal-Mart Stores Director
- **Reuel Khoza** (南アフリカ)  
Institute of Directors in Southern Africa President
- **小林いずみ** (日本)  
経済同友会 副会長
- **Barry Melancon** (米国)  
米国公認会計士協会 新 Board Chairman、President 兼 CEO
- **David Nussbaum** (英国)  
世界自然保護基金 英国 CEO
- **Upendra Sinha** (インド)  
インド証券取引委員会 Chairman
- **Christian Strenger** (ドイツ)  
Deutsche Asset & Wealth Management Supervisory Board メンバー

## お見逃しなく： 2015 公式 「統合報告コンベンション」

2015年11月10日にロンドンで開催される統合報告コンベンションは、2015年にIIRCが主催する唯一の公式コンベンションである。このイベントは、企業の戦略を知らせ、弾力性のあるビジネスモデルを支え、資本の効果的な配分を可能にする統合的思考および報告を企業が実行するための手助けに専念する。

世界中から集まる「統合報告」のリーダーは、既にこのイベントの講演者として決定しており、[ここでその詳細](#)を知ることができる。Generali、Nestle、EnBW、DBS Bank など「統合報告」ジャーニー中の企業からの講演者は、Hermes Investment Management の CEO である Saker Nusseibeh 氏など投資世界のリーダー達に加わる。さらに、統合報告がより広い企業報告の景観にど

のように適合するかを、国際会計基準審議会（IASB）などから組織されるコーポレート・レポーティング・ダイアログ代表者が議論する。

IIRC の Markets Director である Sarah Grey は、「このイベントは、統合報告フィールドの指導者とのネットワークを構築すると同時に、企業報告と統合的思考を学び、進化したい、また、あらゆる規模の報告組織のためにあります。このイベントの中心にある「統合報告ビジネスネットワーク」参加者は、ただ報告するだけでなく、考え、行動するという特別な効果で「統合報告」の採用を先導しています。コンベンションは、企業が「統合報告」のジャーニーを進化させることを可能にし、結果的に、戦略と価値創造への先進的なアプローチを身につけます」と述べた。

詳細については、「[統合報告コンベンション](#)」2015 公式ウェブサイトをご覧ください。[リンク先から 2015 年 10 月 16 日までに登録すると](#)、300 ポンドの特別割引を受けることができます。「統合報告ビジネスネットワーク」参加者で未登録の方は、イベント主催者に連絡することができます。  
Karima.Haywood@informa.com

## IFRS 財団評議員による 構造と有効性についての レビューにコメント しましたか？

そうでない場合、2015 年 11 月 30 日にコンサルテーションが終了するため、コメントすることをおすすめします。コンサルテーションへのリンクは[ここから](#)。レビューでは、パラグラフ 26 ~ 28 において IASB の IIRC カウンシルとコーポレート・レポーティング・ダイアログへの参加を含む広範な企業報告を有する現在の取組みを提示する。

質問 2 は、「あなたは、IASB は上記で概説した協力を通して、より幅広い企業報告の開発において、積極的な役割を果たすべきだという提案に賛成しますか」と尋ねている。

IIRC は、パラグラフ 26 ~ 29 で提示されたアプローチに賛成する。私たちの見解は明確だ。財務報告の伝統的な境界が拡大しており、全体としての報告のエコシステムの妥当性と有効性において信頼と自信を維持するためには、企業報告のランドスケープに広がる組織が協力し、市場の確実性を与え、国際的な企業報告の誠実性を維持することが重要だ。

従って私たちは、IASB は IIRC への関与を通して、企業報告の更なる開発の継続、そして、コーポレート・レポーティング・ダイアログへの継続的な参加は正しいと信じている。私たちは、これは、企業報告のランドスケープ全体に、必要とされる明晰さをもたらすとともに、財務報告の質と妥当性を強化すると信じている。

IIRC は、既に強固な関係性を構築している IASB と覚書を交わすこと、また、コーポレート・レポーティング・ダイアログを通して更に深く協力することを楽しみにしています。

## **G20 のビジネスの力が、 「統合報告」の背後にある 真の可能性を明らかにする**

IIRC の代表は、B20 タスクフォースの 6 つ全てに参加するため招待された。なぜ?それは、企業報告の進化は、金融の安定と持続的な発展に向けた努力に大きく貢献できるという国際的な認識があるからである。

私たちは、企業報告が行動に影響を与えることを知っている。米国の CFO 研究では、彼らが次の四半期報告書で利益目標を逃すと信じた場合、半分以上が成功する長期的な投資を行う判断を見送ることが判明した。私たちは、機関投資家の間で、数十年の間継続している責任範囲の認識と、限られた見識と極めて少ない見通ししか与えない企業の情報開示の認識にずれがあると知っている。それは、投資家の可視化を制限し、そして、自信を持って長期的な投資を行う能力を制限している。

B20 は、統合報告が、推定 500 億 US ドルの国際的インフラ投資のギャップを埋める上で重要なツールであるとして認めている。これは、企業報告改革がインフラへの投資制御を解除する可能性があるとして、世界 6 大会計ネットワークが共に調査し、2014 年のオーストラリア B20 議長に提出した分析を反映している。

この分析は、金融機関としての権利のもと統合報告採用の開拓を行い、また、統合報告が投資プロセスに優れた透明性をもたらす、資本配分決断の質を向上させると推奨している世界銀行から、世界的な制度的支援を受けている。実際、統合報告は現在、27 カ国の企業で（そのうち 16 カ国は G20 諸国・地域）採用されている。

統合報告は、その投資誘因の効果からあらゆる規模の企業で採用され、その企業数は増加している。管理会計士の公認協会（CIMA）は、中小企業における統合報告の高まる妥当性を、特に資本コスト、市場へのアクセス、より良いビジネス理解、評価強化など、多数の具体例で公開している。

- 「[なぜ B20 中小企業&企業家精神タスクフォースは『統合報告』を提唱するのか](#)」 CIMA Head of Reputation and Communication Katie Scott-Kurti 氏
- 「[B20 インフラ&投資タスクフォースを通じて『統合報告』の広範な普及を可能に](#)」 KPMG パートナー Michael Bray 氏

## #17

### あなたは、 どのグローバル目標を サポートしていますか？

持続可能な開発のための 17 のグローバル目標が発表された。これらは、今後 30 年で世界中全ての人が遅れをとる可能性があるものの改善を助ける目標である。あなた、またはあなたの組織はどの目標をサポートしますか？



第 17 目標：普及手段を強化し、持続可能な発展のためのグローバルパートナーシップの活性化が IIRC の焦点となっている。

目標を成功させるためには、全ての企業や市場が統一した試みを行う必要がある。統合報告は、組織の統合思考および報告プロセスの強化を介して、これらの目標を達成することの一助となる。意思決定は資源配分において、6つの資本への配慮を促すこと—金融を超えた広範な効果を考えること—統合報告はとても重要なツールである。

ミレニアム開発目標は、もともと慈善部門によって支払われることを意図していた。今回は、公共および民間のアプローチが必要になると理解している。「統合報告」は開発目標の資金調達を支援することが可能だ。17 目標に対する国連の説明はこのように述べている。「持続可能な開発のための目標を達成するためには、数兆ドルの民間資金の変革の力を結集・方向転換・制御解除する緊急のアクションが必要とされる。海外直接投資を含む長期投資は、特に発展途上国の主要セクターで必要である」。開発資金文書のゼロドラフトが認識するように、統合報告は、実務と持続的な発展とのより良い提携を支援でき、ダイナミックで十分に機能するビジネスセクターを促進することができる。

また、スリランカの首相は最近、統合報告が海外からの投資を確保できると認識しこのように提言する。「統合報告を学び、採用することは、確実に企業セクターの利益となり、彼らの報告書を投資家やステークホルダーにとって意味のあるものとする。これは海外直接投資や現地の民間投資に対し、私たちの国をより魅力的に見せる」。

IIRC はこれからも、「統合報告」採用の流れから生じる機会の国際的な認識を確かにする。したがって「統合報告」は、

全ての持続可能な発展への目標が成功するために役目を果たすことができる。

## 「統合報告」トレーニングご意見をお寄せいただきありがとうございました

私たちは、「統合報告 Competence Matrix」のドラフトに対して、皆様から非常に良い意見を頂戴しました。オンラインアンケートでご回答いただいた方、また、周知のためにイベントやディスカッションを開催してくれた全ての方々に感謝申し上げます。

提案したマトリックスに対するコメントは全体的に良いサポートレベルにあり、いくつかの見識は非常に有用であるため、私たちもその改善に取り組むかもしれません。諮問グループは意見の分析について議論し、変更余地のあるものを推薦します。私たちはこれからも皆様のご意見やトレーニングへの関心を喜んでお待ちしております。

ご連絡は下記まで。

[training@theiirc.org](mailto:training@theiirc.org)



Website

Twitter

LinkedIn

YouTube

Contact: [juliet.markham@theiirc.org](mailto:juliet.markham@theiirc.org)

Copyright © 2015 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.  
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)